



亀中だより

No.21 令和7年9月22日 文責 岡田

For The Students!

2年生 職場体験学習へ たくさんの事業所のご協力ありがとうございました。



2年生で行う職場体験学習。今年は9月10日～12日の三日間、亀中からは75カ所の事業所でお世話になり、開催されました。中部中学校、関中学校との合同開催で、市内全体では180ほどの事業所から本事業へのご協力をいただきました。この活動は、生徒が各事業所で働く方々とのかわりを通して、実際にその仕事を体験し、働くことの意義や目的の理解、すすんで働こうとする意欲や態度を育むことをならいとしています。また、生徒にとっては、自己の理解を深め、社会的なルールやマナー、地域社会への愛着や誇りを持つことにもつながる学習活動です。2年生のみなさん、三日間の活動ご苦労様でした。この体験で得られたことを事後学習で交流したり、深め合ったりしながら、今後の活動に活かしていってください。

仕事とは何か... なんのために働きつづけるのか... イソップ寓話「三人のレンガ職人」に学ぶ

イソップ寓話「三人のレンガ職人」

旅人が建築現場で作業している人に「何をしているのか」と質問した。

1人目は、「そんなこと見ればわかるだろう。親方の命令で“レンガ”を積んでいるんだよ。暑くて大変だからもういい加減こりごりだよ」と答えました。

2人目は、「レンガを積んで“壁”を作っているんだ。この仕事は大変だけど、金(カネ)が良いからやっているのさ」と。

3人目は、「レンガを積んで、後世に残る“大聖堂”を造っているんだ。神を讃えるためにね。こんな仕事に就けてとても光栄だよ」と。

上のお話は「三人のレンガ職人」というイソップ寓話です。3人ともレンガを積むという同じ仕事をしているのに「何をしているのか」という質問にそれぞれ違う答えをしています。一人目の職人より二人目、二人目の職人より三人目の職人のほうが、より良い仕事ができることは容易に想像できるし、たとえば自分の家を建てる仕事を頼むなら、三人目の職人に頼みたくなります。それに、三人目の職人の人生のほうが、より豊かで、魅力的に感じられるのではないのでしょうか。

仕事に限らないかもしれませんが、自分の仕事、自分のやっていることが社会やほかの人とどのようにかかわっているのか、そのことを感じ取る力があれば、見え方も違ってくるのかもしれません。大切なのは、「感じ取る力」にあるのではないのでしょうか。みんなには“幸せ”になってほしいと思います。そのためにも「幸せを感じ取る力」を持っていほしいと思います。